

EVENT SCHEDULE	9/16 (金) オープニングDAY	9/17 (土) 駅前お祭り&地歌舞伎DAY	9/18 (日) 東日本大震災復興支援DAY	9/19 (月・祝) ファイナルDAY
常盤座(常磐神社)	オープニングシアター 18:00 21:00	常盤座ゆうやみシアター 17:00 20:00	常盤座ゆうやみシアター 17:00 20:00	ファイナルシアター 14:00 18:00
にぎわい広場 (アピタ前)		駅前シアター 11:00 15:00		
明治座			明治座おひるまシアター 13:00 16:00	

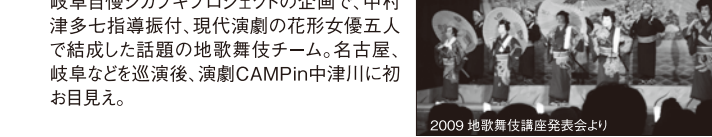
演劇CAMP in 中津川バスポート	一般/4,000円 子ども・学生/2,000円 中津川市と近隣市町村民の一般/2,000円 中津川市と近隣市町村民の子ども・学生/1,000円 ※期間中開催されるすべてのイベントに入場できます。	イベントチケット ※中津川市が市民のために助成しています。中津川市民の方は証明するものをご提示下さい。
演劇CAMP in 中津川バスポート	一般/2,000円 子ども・学生/1,000円 中津川市と近隣市町村民の一般/1,000円 中津川市と近隣市町村民の子ども・学生/500円 ※未就学児は全て無料	※中津川市が市民のために助成しています。中津川市民の方は証明するものをご提示下さい。

EVENT 総合司会/外波山文明(椿組)

1 オープニングシアター

9/16(金) 18:00~21:00 常盤座

■岐阜自慢ジカキプロジェクト
「青砥稿花紅彩画～白浪五人男」
 指導/振付/中村津多七 出演/堀優子(劇座)、寺田夏梨(劇座)、斉藤よたひ(劇団B級遊撃隊)、松野有加里(劇団あおきりみか)、越野波奈子
 岐阜自慢ジカキプロジェクトの企画で、中村津多七指導振付、現代演劇の花形女優五人で結成した話題の地歌舞伎チーム。名古屋、岐阜などを巡演後、演劇CAMPin中津川に初お目見え。



■朗読劇「虫たちの日」

ある老夫婦が晩ご飯の支度をしていたのも通り食事をするという日常生活の中でほとんど慣性化された時空をリアルタイムで描写した作品です。別役実の中期的傑作を名古屋の人気俳優/俳優、天野鎮雄、山田昌の朗読劇で中期の天野鎮雄
 昭和11年名古屋生まれ、NHK名古屋放送局を振り出しに、文学専攻学生、大島、滝氏主宰の「創造社」、「山本安典の会」などを経て、現在ラジオ、テレビ、舞台で活躍中。これまで出演した代表的な放送番組には、NHKテレビの「中学生日記」、銀河テレビ「本日開演」、東海テレビの「アマチノ土曜リポート」をはじめ、「天ちんの土曜サロン」は平成6年9月まで15年間にわたって大々的に放送されてきた。また東海テレビでは深夜の「コミックナイト」(「なんぞヒーロー」)、「アマチノ」(「アマチノのラジオにおまかせ」)、「アマチノ」(「アマチノ」)などがあり、「アマチノ」の愛称が大活躍。多大な功績を残して来られた。現在、若手演劇人育成のために名古屋「劇座」を主宰し、また「劇座」の代表でもあり、その成果に対しては平成9年、社団法人日本演劇協会より表彰された。ほかにも、様々な活動で地域社会に貢献している。昭和65年度、愛知県芸術文化賞、平成6年度第1回「アングラ文化賞受賞、平成3年度東海テレビ芸術選奨受賞、平成8年度名古屋芸術賞受賞、平成14年度愛知県芸術文化選奨受賞、平成18年度、文部科学大臣賞受賞。

山田 昌
 1949年NHK名古屋放送局。1985年に愛知県名古屋劇座、劇座を結成に参加。以来、劇座公演、地人協会公演など数多くの舞台、映画、テレビドラマなどに出演する。主な舞台出演は、劇座公演「やっかめ探偵団1〜7」(泰山木の木の下で)、木村光一演出、地人協会公演「はなれ舞女おひん」(藤村竹人形)「の子たちの夏」(劇座公演)「しんあいな女」(中津川劇座)「産屋敷入道物語」(大安寺日劇)など。映画出演は、「真田丸」(カンテレ)主演、「テレビドラマ」では、NHKの「のんのぼやおし」「なんぞはんぼ」(藤の園)、東海テレビ「名古屋屋敷1982」、CBC「やっかめ探偵団」など。1982年、名古屋芸術賞受賞。1992年、愛知県芸術文化選奨受賞。1998年、松原英治・若狭正也演劇賞受賞。

■床絵美「アイヌ歌謡」

床絵美はモダン・アイヌミュージックの新進の歌姫。北海道・阿寒湖畔で育ち、幼い頃からアイヌ民族の唄と器楽のバックグラウンドを聴きながら育ち、2007年初の自主制作CD「UPOPO ウポポリ」シリーズ、アイヌ文化アドバイザーとして全国各地を巡演したり、オーストラリアやフランス等の海外活動に参加して、その伝統に根ざしながらもモダンな歌で評判となる。

■フォークグループ「土着民」

71年フォークグループ「土着民」(どちゃみん)を結成、オリジナル曲を作り始める。主として、住居、自然、人生などをテーマに、そのまを歌い、地に根ざした活動を展開。メンバーは岐阜県中津川市(旧恵那郡)付知町に生まれ育った自営業、会社員などで、仕事の傍ら活動を継続。03年に芝居小屋風のコンサートホール「鼓士里座」(ことり座)を塾地から大工仕事まで自分たちで建設し、そこを拠点に歌って踊って食べて遊ぶライブ活動を始め、2009演劇CAMP in 中津川で人気を得る。

2 駅前シアター 無料イベント

9/17(土) 11:00~15:00 にぎわい広場(アピタ前)

■中津川駅前10時40分集合～にぎわい広場「駅前シアターパレード」
 チンドンジャズバンドと巨大人形、クラウン、演劇人の仮装パレード。中津川駅前ににぎわい広場の会場まで祝祭気分色!



■PLE-MIX(クラウンファミリープレジャーB)「コメディミニシアター」

94年結成。2009年現在メンバー約45名、日本では珍しいクラウンのみのファミリー系劇団。各人が得意な特技は、ゼーレとそなっちゃんのアとついつい出し出して突っ込みたてなっちゃんことばかり、ラカカ的なもてみやみややプリングもいれコミカルでテンコ盛り展開してきます。アメリカ、ワールドクラウン・アンサー・ジョン・コバシヤンにおいてクラウン部門最優秀賞。またONTDロシヤ劇場部門でも最優秀賞、モントリオールマム・フェスティバル、モントリオール・アメリカン・フェスティバル招待公演。大道芸スタイルのチームPLE-MIXとして東海芸術フェスティバル静岡にて2008年より連続出演。イギリス、テレビバラエティ「アングラ文化賞受賞、平成18年度、文部科学大臣賞受賞。

■床絵美「アイヌ歌謡」

■岐阜自慢ジカキプロジェクト「青砥稿花紅彩画～白浪五人男」

■小林裕尚ジャズバンド「どんぱんぼろひ」

チンドン大会で人気ナンバーワンジャズバンド。祭でなくても気持的に募金箱持って市中歩いてみたんだが、単独でやっても怪しまれるだけだし…、そが、演劇CAMP in 中津川に行こう!

■パフォーマンス「巨大人形ダンス」

オブジェクトパフォーマンスシアターを中心にした国内唯一の巨大人形グループ。あいちトリエンナーレPR隊にもメンバーとして参加した。今回は「トワワイルスタ」に登場する巨大人形たちのデモンストレーション。

3 常盤座ゆうやみシアター

特集“地歌舞伎”9/17(土) 17:00~20:00 常盤座

■恵那文楽保存会「三番叟」
 人形/安藤邦一、大井久司、今井輝幸、佐藤輝夫鼓/市岡基吉 三味線/伊藤龍太
 川上(かおれ)地区は中津川の支流、恵那山(1191m)の麓にあり、恵那文楽はこの地区の人々の手によって代々受け継がれ守り続けられてきました。もともとは川上のあやつりとか人形浄瑠璃と呼ばれておりましたが、昭和61年に岐阜県無形文化財の指定を機に恵那文楽といふ名称になりました。



■日本演出者協会東京選抜「仮名手本忠臣蔵」リーディング上演

構成/演出/篠本賢一
 昨年の「絵本太功記」全段リーディング上演に続き、東京地区在住の演出家と俳優による「仮名手本忠臣蔵」全段のリーディング上演。



■中村津多七の地歌舞伎見聞「仮名手本忠臣蔵七段目」

中村津多七による中津川地歌舞伎独自の演出による七段目見聞。師匠による実演も含めた歌舞伎ファン、忠臣蔵ファン必見のステージ。

■オイスターズ公演、仮名手本忠臣蔵に発想した書き下ろし現代劇「お蔵入り」

作/演出/平塚直隆
 ライトでドライな不条理系会話劇を得意とする名古屋の劇作・演出家、平塚直隆。かつては全国各地の戯曲賞で「永遠のセカンドマン」と呼ばれるほどの佳作ホルダーだったが、2009年に「仙台劇のまち戯曲賞」大賞、続く2010年に劇作家協会新人戯曲賞最優秀賞を受賞。演出でも若手演出家コンクール優秀賞を受賞するなど注目を集めている。

平塚直隆
 劇作家・演出家・俳優、オイスターズ所属。昭和48年名古屋市生まれ。2001年プロダクションに入団。以降解散までほぼ全ての北村想作品に出演。並行してはせひろい戯曲セミナーで戯曲を学び、日本全国多くの戯曲賞で佳作ばかりを受賞。その後は「永遠のセカンドマン」と呼ばれていたが、ついに2009年第4回山台劇のまち戯曲賞で大賞を受賞。ライトでドライな不条理系会話劇を得意としている。プロダクションや専門学校、ワークショップ講師としても活動多数。

5 常盤座ゆうやみシアター

9/18(日) 17:00~20:00 常盤座

■SENDAI座☆プロジェクト(仙台市)「十二人の怒れる男」

作/レジナルド・ローズ 脚色/ジャーマン・L・サージェル 新翻訳/宮島春彦 演出/伊藤み弥
 往年の名作映画で大ヒットしたアメリカの裁判劇を、東日本大震災後、仙台の演出家と俳優が初めて演じる魂の舞台。父親殺しの罪に問われた少年の裁判で、陪審員が評決に達するまで一室で議論する様子を描く。

SENDAI座☆プロジェクト
 2007年、橋渡宏嗣、渡部ゲユウが中心となり、仙台のど真ん中に演劇専用の小劇場「SENDAI座」開設。現代演劇の面白さを紹介しながら、劇場と地帯劇団が生き出す力での魅力ある街づくりに努めることが目標。07年カナダ演劇の代表者「High Life」,08年「女たちのボロロ」,09年「マクベス〜マクベスはサイレンの音を聴いたか!」10年「明日に向かって歌え!!アデルイ」キャラバン(西)に向かう」を上演。また、3.11震災後の6月に復興応援チャリティ公演「明日に向かって歌え!!アデルイ」キャラバン(西)で仙台と行った。仙台の俳優・スタッフを中心としたプロデュース公演「若手俳優・声優を育成するための養成所も運営している。



4 明治座おひるまシアター

9/18(日) 13:00~16:00 明治座

■2011 演劇CAMP in 中津川文化大使 五大路子 語り「加子母の昔話」
 出演/五大路子、由愛典子、福田麻恵 演奏/園田裕子
 中津川市の東北端に位置する加子母は古くから木曾五木の村として知られ、伊勢神宮や名古屋城の御神木も育ててきました。地歌舞伎の明治座は知られていますが、文壇上と袈裟御前の由来の地でもあり今でもたぐさんの伝説や民話が残っており語り継がれています。その中から幾つかを五大路子がアコーディオンとの共演で語ります。



■岐阜自慢ジカキプロジェクト「青砥稿花紅彩画～白浪五人男」

■PLE-MIX(クラウンファミリープレジャーB)「コメディミニシアター」

※17日と公演内容は異なります

■劇団そらのゆめ「ゆめたまご」

作/川村ミチル 演出/そら組演出部 出演/すがまさのり、川村ミチル、きとうたくみ
 タクロウとその妹モモエに、いつもやられっぱなしのサトル。ある日、サトルは見たこともないような大きなタマゴを見つけた。カラが割れて中から出てきたのは、ヘンテコリな女の子。どうやら迷子になったらしい。その女の子の家を探するため、サトルは冒険の旅に出る。そこで待ち受けていたものは…。ユメかホントか、パワーあふれる 遊びの世界!



■加子母木遣り保存会「加子母木遣り音頭」

出演/加子母木遣り保存会
 加子母(かしも)の木は伊勢神宮の遷宮のために使われる。そのために切り出した巨大な木を、昔は全て人の力で川を辿って運びました。その際に木遣りの唄が歌われお祭りのように各地を進んでいきました。

■コーラス夢「加子母の歌」

指導/原ゆづみ 出演/コーラス夢
 加子母で唯一の女性コーラスグループです。結成8年で3回の練習を重ねています。歌の楽しさが仲間を輪を作り、現在のメンバーは20名です。歌を通して、いろいろな場に出かけて楽しんでいます。演劇CAMPには「キッズと作る野外劇」に続き3回目の参加で、今回は加子母の歌を歌います。

■日本演出者協会東海選抜 朗読劇「やり取り～母と娘」

作/鹿目由紀 演出/木村繁 出演/中田裕子(総合劇集団俳優館)、元山未奈美
 2010年若手演出家コンクール優秀賞の劇作家・演出家鹿目由紀が震災直後故郷会津の母とかわいた交換メールの日々。今年6月、東京で開催した日本演出者協会東日本大震災支援事業フェイクス・プロジェクトで好評だった朗読劇の上演。

■中津川市選抜 朗読劇「それゆけ安全マン!? ～レントゲン・チェルノブイリ・フクシマ～」

作/相馬杜宇、清水弥生 演出/鈴木弘文(劇団夜明け)
 原発問題をコミカルに演じ、今年6月、東京で開催した日本演出者協会東日本大震災支援フェイクス・プロジェクトで好評だった朗読劇の上演。中津川市民が総力を挙げて上演します。

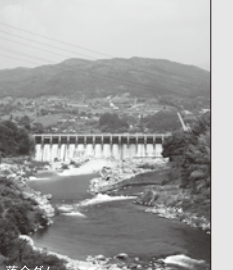
■鈴木弘文

1944年生まれ、中津川市在住。劇団夜明け、朗読を楽しむ会代表。中津川市文化協会副会長。劇団とサラリーマン生活を6年前に終了。劇団は今年54周年、劇団員の減少と高齢化で活動的にできず、毎年2〜3回の定期公演実施。朗読を楽しむ会は6年前に発足。過去4回の公演実施。それぞれ演出を担当。その他、文化協会ステージ部門総合文化祭、中津川少年少女合唱団コンサートのミュージカルの演出を行なっている。劇団の存続と地方の小都市に演劇文化を根づかせることが切実な願い。日本演出者協会会員。

6 コアマガルシアター

9/19(月・祝) 14:00~18:00 常盤座・常磐神社

■2011 演劇CAMP in 中津川文化大使 五大路子 朗読「セメント樽の中の手紙」
 作/葉山嘉樹 出演/五大路子 演奏/園田裕子
 五大路子が日本プロレタリア文学の金字塔「セメント樽の中の手紙」を朗読します。葉山嘉樹はこの小説を中津川市落合のダム工事の飯場で書きました。治安悪化持論違反で巢鴨刑務所に服役中「海に生くる人々」を書き、続いて落合の飯場でこの小説を書きました。落合には今も石碑が建ち「馬鹿にはされるが、真実を語るものが、もっと多くなる」とい。葉山嘉樹)と自筆で記されています。幻想文学としても評価の高い作品の朗読です。



■キッズと作る野外劇発表会/常磐神社 ※雨天の場合は高山小学校「トワワイルスタ」

作/菅野直子 指導/木村繁 出演/オブジェクトパフォーマンスシアター
 キッズと作る野外劇のワークショップの発表会。「トワワイルスタ」はこの8月、若手唄の陸前高田、宮古、釜石、大船渡の子どもたちとワークショップを開催して上演してきました。その想いをこめて中津川の子どもたちと巨大人形を使って上演します。

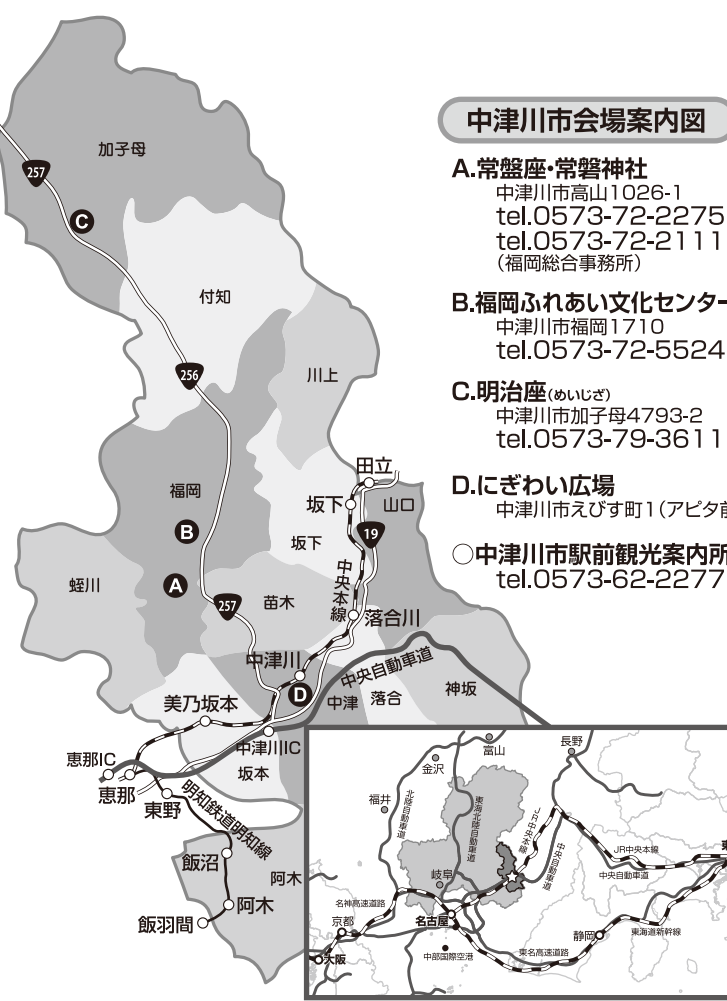
■丸プロ・プロデュース 蛭川出たがり一座「七福神様!豊年踊りでございます」

出演/蛭川お膳子保存会、蛭川民謡クラブ、蛭川歌舞伎保存会、蛭川阿茶組
 これぞ、地歌舞伎の原点か?中津川市蛭川に昔から伝わる踊り「豊年踊り」と「七福神」を蛭川と恵那の出たがり達が、伝統のお膳子に合わせて踊ります。今年の演劇キャンプ、田舎者も都会人もこれを見て収穫の秋を祝います。



■演出家俳優養成セミナー 発表会「東海道四谷怪談」

指導/流山児 祥、鹿目由紀
 アングラ演劇界の寵児流山児祥が中津川で地歌舞伎に挑戦。仮名手本忠臣蔵の書き換えたといわれる「東海道四谷怪談」を原作に4日間の練習で斬新な成果を発表します。



■洪明花 韓国舞踊「扇の舞」

伝統的な韓国舞踊を基本にして1950年代初めに作られた創作舞踊の一つ。華麗な宮廷衣装と、花の絵が描かれた羽のついた扇を両手にかざして多彩な変化を表現する動作が、優雅でありながらも躍動感、生命感のあふれる現代韓国の代表的な民族舞踊。韓民族の清慮と美的感覚がasmusることなく表現されており、一般的に広く愛され、独舞だけでなく群舞としても親しまれています。



洪明花(ホン ミョンファ)
 大阪芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業、幼少より、大阪の韓国舞踊団「グループ黎明」にて韓国舞踊を学ぶ。女優として、劇団「それとこち」を経て、現在は韓国「ユニークポイント」に所属し、映画や舞台などで活躍中。女優業の他に、イベントや式典、また韓流スターのファンミーティングなどの司会、ナレーター業も務める。さらに、様々な国際会議や企業主催会議、記者会見、舞台製作現場での通訳の他、映画、ドラマ字幕、戯曲などの翻訳も手がける。韓国語、英語、ピアノ演奏、韓国舞踊、韓国伝統楽器と趣味、特技も幅広い。

交流会(アフタートーク)

参加費：無料(別途、飲食代が必要な時もあります)

会期中、夜のイベント(公演)終了後、交流会(アフタートーク)として、全国の演劇人同士、市民と演劇人の交流、対話の時間を設けます。
 演劇人の抱える問題、東日本大震災復興支援のこと、地歌舞伎や伝統演劇のこと、地域間の交流、市民との交流などのテーマのもと、毎夜、盛んなトークを展開しましょう。お酒を交えての「ほろ酔いトーク」懇親会もあります。

チケット購入希望の方

チケット購入を希望するイベント名、氏名(ふりがな)、住所、郵便番号、連絡先(電話、FAX、携帯電話)、E-mail、職業・所属(学校、劇団等)、宿泊施設案内(希望する、しないを)、FAX、郵送、Eメールで、ご連絡ください。連絡先は裏面へ!

※日本演出者協会員はすべてのセミナー、イベントに無料で参加できます。事前に参加予約は行ってください。
 ※ご記入いただいた個人情報「演劇CAMP in 中津川」のご案内のみに利用させていただきます。
 ※受付時(受付後)、お支払い方法をお知らせいたします。

中津川へのアクセス

電車
東京方面から
 ・新宿駅(中央線JR東日本)▶塩尻駅(中央線JR東海)経由▶中津川駅
 ・東京駅(東海道新幹線)▶名古屋駅(中央線JR東海)経由▶中津川駅
 ・新宿バスターミナルから高速バスもご利用いただけます。

名古屋方面から
 ・名古屋駅(中央線JR東海)▶中津川駅

お車
東京方面から
 ・中央自動車道▶塩尻インター▶国道19号線を木曽方面へ(約1時間40分)
 ・中央自動車道▶中津川インター▶国道19号線を木曽方面へ(約20分)

名古屋方面から
 ・中央自動車道▶中津川インター▶国道19号線を木曽方面へ(約20分)

市内シャトルバス

JR中津川駅と各会場、宿泊施設をシャトルバス演劇CAMP号が巡回します。バスポート・チケット提示で無料です。運行ダイヤはHPを参照、もしくはお問合せ下さい。なお当日は中津川駅前と会場に貼り出します。会場間の移動にはお車が便利です。駐車場を用意しています。

宿泊案内

宿泊施設(有料)があります。お問合せください。